

2014年9月定期報告と次月度以降の活動予定

活動日誌

9月	3	日	エコ農業推進会議
	4	日	とちぎ地産地消県民運動実行委員会幹事会
	4	日	地方消費者グループフォーラム栃木県実行委員会
	6	日	いわき市四倉仮設住宅お茶会
	11	日	栃木放送番組審議会
	11	日	6県連合同業態研修会(茨城県) 11-12日
	13	日	JC 総研 協同組合研究会(明治大学)
	16	日	ふれあいお茶会
	18	日	福祉ネットワーク
	18	日	元気なもりづくり広報企画会議
	22	日	第1回組合員理事学習会
	23	日	足尾銅山生協訪問
	24	日	JA 改革検討委員会
	25	日	とちぎ食の安全ネットワーク全体会(動物医薬用品学習会)※県と共催のセミナーに変更
	26	日	栃木県生協連生協検査
	27	日	JCC 研究集会
	28	日	もったいないフェア宇都宮2014
	29	日	とちぎ消費者カレッジ『宇都宮短期大学宇都宮共和大学子ども生活部』
	30	日	とちぎ消費者ネットワーク(幹事会)
	30	日	地連運営委員会・県連推進会議
30	日	全国消費者行政ウオッチねっと	
10月	3	日	関東甲信越行政生協関係者交流会
	4	日	きらめく女性フォーラム
	4	日	ねんりんピック4-7日
	6	日	くらし部会
	7	日	食と農をつなげる会
	9	日	栃木放送番組審議会
	9	日	第13回とちぎ食品安全フォーラム
	10	日	消費者グループフォーラム全国実行委員会
	10	日	理事長専務会議
	11	日	エコ森フェア 2014
	13	日	地域居住による生活困窮者支援フォーラム
	14	日	福祉センター理事会
	14	日	小山市長訪問事前学習会
	16	日	小山市長訪問
	16	日	労福協幹事会
	18	日	いわき市四倉仮設住宅お茶会
	20	日	県連理事会
	20	日	とちぎ消費者カレッジ『作新学院大学女子短期大学部』
	21	日	ふれあいお茶会
	23	日	とちぎ食品安全地域フォーラム(佐野)、とちぎ食の安全ネットワーク世話人会
	24	日	宇都宮市長訪問事前学習会
	25	日	とちぎ食育推進大会 2014 25-26日
	25	日	とちぎ食と農ふれあいフェア 2014 25-26日
	26	日	栃木市協働祭り
	27	日	宇都宮市長訪問
	27	日	第2回組合員理事学習会
	28	日	とちぎ消費者ネットワーク全体会
	29	日	協同組合交流会打合せ会
	11月	6	日
9		日	うつのみや食育フェア
11		日	県連常務理事会
14		日	とちぎ食品安全地域フォーラム(県北)
22		日	よつ葉生協「生協まつり」
25		日	とちぎ消費者ネットワーク(幹事会)
12月	2	日	報道代表者会懇談会
	2	日	地連運営委員会・県連推進会議
	6	日	ECO テック&ライフとちぎ2014 6-7日
	9	日	県連理事会
	10	日	協同組合交流会
	11	日	とちぎ食の安全ネットワーク(全体会)
1月	16	日	賀詞交歓会
	22	日	とちぎ食の安全ネットワーク(世話人会)
	27	日	とちぎ消費者ネットワーク(全体会)
	27	日	地連運営委員会・県連推進会議

県連活動

1. くらし部会

9月定例会はありませんでした。取り組む課題の進行は次のようです。

●(介護保険制度改定に伴う活動経過)「市町訪問活動」

日	課題	取組み内容	備考
8/29	全体学習会	『「介護保険精度の改定に向けた市町村訪問活動について」～新しい地域支援事業～これまでの介護保険精度と何が変わるのか?市町村訪問のポイントについて』 講師：日本生協連福祉事業推進部 山際部長	参加者は39名で、「分かりやすく説明をしていただき理解が深まった。」との感想多数。
8月 9月	会員取組み事前集約	訪問を前に、各生協の事業状況やサービス資源を集約し、支援事業に役立つことがないかなど、市町にアピールできるように資料作成の集約を行う。	
10/14	小山市訪問事前学習	小山市の訪問を前に、市の取組み状況について学習会。 講師：事業団 佐藤理事長	10/16 小山市長訪問
10/24	宇都宮市訪問事前学習	宇都宮市の訪問を前に、市の取組み状況について学習会。 講師：ふれあいコープ 崎谷専務理事	10/27 宇都宮市長訪問

●(行政との協働事業)

「うつのみや食育フェア2014」(11月9日)、及び「ECOテック&ライフとちぎ2014」(12月6日7日)の出展を予定しており具体化を検討しています。

●(食と農をつなげる会)

10月7日(火)予定の「食と農をつなげる会」では、JA改革についての学習と交流をすることにしました。協同組合連に対する政府の介入についての問題点や、協同組合として私たちはどうあるべきかなど、交流する予定です。

●(栃木協働祭りの参加)

10月26日(日)に予定されている恒例の栃木協働祭りは、栃木子育てネットワークの一員として参加します。

2. 『組合員理事及び組織活動担当職員学習会』の開催

第一回は、9月22日(月)を予定しています。テーマ：

	日	テーマ	講師	参加・備考
1	9/22	「協同組合思想とその歴史」	栃木県生協連 竹内会長理事	参加36人
2	10/27	「今なぜJA改革なのか」	宇都宮大学 農学部 農業経済学科 秋山満教授	
3	12/1	未定	NPO法人 自立センターふるさとの会 滝脇憲常務理事	

3. 『組合員・役職員学習会』の開催

	日	テーマ	講師	参加・備考
1	7/7	いま憲法について考える ～憲法のいきづく国にするために～	伊藤塾 塾長伊藤真弁護士	参加81名 「憲法について改めて学ぶ機会になった」との感想あり。
2	7/26	TPP交渉の現状と今後の見通し ～私たちの暮らしにどう影響するのか?～	東京大学大学院農学 生命科学研究科 鈴木 木宣弘教授	参加104名 「知ることの大切さを知った。」などの感想あり。

4. 行政、他団体との協働

- 1) 恒例の報道代表者会懇談会は、12月2日(火)を予定しています。
- 2) 協同組合間交流会は、12月10日(水)を予定しています。
- 3) 新規に栃木県総合政策部総合政策課「新とちぎ元気プラン 次期プラン策定懇話会」を会長理事が委員として受託しました。¹
- 4) ユニセフハンドインハンドは例年通り11月12月で実施できる会員で取組みます。

¹ 栃木県の将来像『「安心」「成長」「環境」をともにつくる、元気度 日本一 栃木県』の実現に向け、県民と県が共有する基本的な考え方や目標、県が行う仕事の進め方などを示した県政の基本方針。次期プランは2016年から2020年の期間。

5. 「6 県連合同業態研修会」参加

職域生協の集まり「6 県連合同業態研修会」が、茨城県生協連主催で9月11日12日の二日間で開催されました。栃木県生協連では県庁生協1名、生協連3名の4名で参加しました。茨城県庁生協連の視察、交流等、岡倉天心を題材とした映画「天心」の試写など盛りだくさんの交流をしました。次回は、群馬県生協連が開催県です。

ネットワーク活動

1. とちぎ食の安全ネットワーク

9月の全体会は、次の学習会を実施しました。また、課題の進行では食品安全フォーラムの具体化を検討してきました。

●(食品安全フォーラム)

地区	日	テーマ	場所
県央地区	10/9	放射性物質と食品の安全性について～今それぞれの立場で取組んでいること～	県庁研修館講堂
安足地区	10/23	食品工場の品質管理について～カレーのルーはどのようにつくるの～	ハウス食品 (佐野市)
県北地区	11/14	食品中の残留農薬と食品の安全性について	与一の郷 (大田原市)

●(全体会を使った学習会)

9月25日(木)全体会での学習会は栃木県との共催となり、「動物医薬用品の安全性確保について」(講師：内閣府食品安全委員会事務局 関口課長補佐)のセミナーを実施しました。

日	テーマ	講師
5/15	輸入食品の監視体制 TPP 参加で大丈夫か	宇都宮大学 宇田靖名誉教授
9/25	動物医薬品と食の安全性に関わるセミナー 「動物医薬品の安全性確保について」 「県における動物医薬品の適正使用の啓発・指導の状況について」	内閣府食品安全委員会事務局 関口秀人課長補佐 栃木県農政部畜産振興課小松亜弥子主査
12/11	未定(調整中)	未定
3/19	食品表示について(仮称)	未定

2. とちぎ消費者ネットワーク

9月30日に幹事会が実施されました。幹事会では次のカレッジ、学習会、地方消費者グループ・フォーラムについて話し合いました。

●(地方消費者グループ・フォーラム関東ブロックの開催準備)

消費者問題の活動をしている団体を中心に交流する消費者庁提案の交流会「地方消費者グループ・フォーラム」の関東ブロック開催(2015年2月19日(月)、栃木県総合文化センター、200名規模)をとちぎ消費者ネットワークで担います。全国のキックオフ集会在8月28日に東京で開催され、それを受けて9月4日に栃木実行委員会を開催しました。テーマ・参加団体・会場など詳細を今後検討し、準備していく事を確認しました。

●(とちぎ消費者カレッジ計画)

「若者(主に大学生)を対象にした消費者被害防止の啓発委託事業」を栃木県から受託し、大学、専門学校で、啓発授業を実施する事業です。

大学	日時	テーマ	講師・内容
●宇都宮短期大学宇都宮共和大学 子ども生活部	9/29(月)14:45-	若者の消費者問題を考えてみましょう 「相談の現場から伝えたいこと」	白土サポートネット副理事長
●作新学院大学女子短期大学部	10/20(月)14:40-	二十歳の責任「消費者被害を受けない、与えない」	服部弁護士
●国学院大学栃木短期大学	未定	未定	未定
●宇都宮大学	未定	未定	未定
●栃木農業大学校	未定	未定	未定

(全体会を使った学習会)

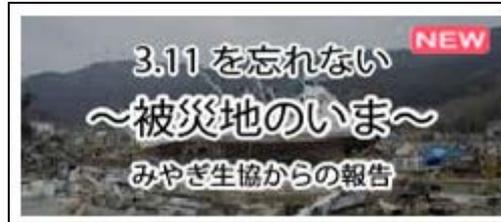
日	テーマ	講師
5/27	消費者問題はなぜおこる	山田幹事

7/22	消費者市民社会における栃木県内のパブリックコメント制度を検証する	高岡幹事
10/28	適格消費者団体について	服部幹事
1/27	未定	葛谷幹事
3/24	未定	杉原代表

3. **福祉ネットワーク** 9月の定例会はありませんでしたが、介護保険の改正に伴う「市長訪問活動」には幹事メンバーが参加していきます。

震災支援活動

●みやぎ生協から発信される「3.11を忘れない 被災地のいま」を連続してホームページで掲載しています。



●お茶会の実施

行政、NPO 法人ウィズ、県連会員などの協力のもと、社会福祉法人ふれあいコープ特養みどりの地域交流室を使って開催する福島からの避難者を対象にしたふれあいお茶会を定例で実施しています。（目的：①参加者同士をつなげる場、②参加者の想っていること困りごとを受けとめつなげる場、③おしゃべりを楽しんでいただく場・基本は毎月第三火曜日開催）

県連会員の協力のもといわき市四倉仮設住宅に暮らす避難者の方を対象にしたお茶会を実施しています。（目的：ふれあいお茶会と同様・基本は毎月第二土曜日開催）

ふれあいお茶会	9月16日（火） 参加者 12名 スタッフ 15名 ・ウィズ1名 ・生協連 14名	～スタッフ反省会の感想から～ (1) 参加者の方とお団子を作った。とても慣れた様子でコツを教えていただいた。持参した花の名前も教えてもらい今回は知恵や知識を沢山いただいた。 (2) ほとんどの方が手芸を楽しんでいた。家にも暇だからとおっしゃっていて、道具もゆずってあげられたらと思う。 (3) しばらく参加がなく心配していた方が、お勤めが決まったとのことで安心した。 (4) 「以前は何もやる気がなかったが3年経ち自分も何かしなければと思うようになった」と、おっしゃっていた。 (5) 家族との会話が少なく近所にも話し相手がいなくて、毎回お茶会を楽しみにしてくださっている。 (6) 参加人数が少な目となり、慣れた方とそうでない方とでグループが出来てしまいとても気になる。 (7) 高齢者の対応として ①時間をかけて慣れてゆくこと ②その人の気持ちに寄り添うこと ③正面に座らないことを心掛けること。 (8) 今後の進め方として、参加者とスタッフでメニュー等も相談しながら一緒に考え、協力し、時間をかけて話し合いながら行う。
	9月6日（土） 参加者 9名 スタッフ 12名 ・よつ葉生協 1名 ・とちぎコープ 8名 ・生協連 3名	毎回好評の手芸は、布に絵を描いて、それを各自好きに加工（ポシエットなど）するというものでした。みなさん、思い思いの絵を描いて楽しまれているようでした。食事もおでんや焼きナスなど季節に合わせた食材が登場し、おいしくいただきました。梨や巨峰の他、月見だんごも用意されました。 会話では、ご夫婦の馴れ初めの話で盛り上がり、元の場所に移動し始めたという話や帰るとボーとしていてボケるので、毎回の手芸が楽しみなどという声が聞かれました。 男性陣は、前回霧で展望が無かった「塩屋崎灯台」に行き、今回は灯台からの景色を見ることができました。案内していただいた被災者の方も灯台の上まで登ったのは初めてで良かったと言っていました。途中の海岸沿いは、堤防のかさ上げ工事が進行し、道路からは海が見えないようになってきています。 また、仮設住宅でも住んでいない方の「ポスト」にテープが貼られ、その数が増えているようでした。元の場所に帰る方が増えると思いますが、集まって話ができる場である「お茶会」はとても期待されていると感じました。帰りには、お月見用に「すすき」をいただきました。（お茶会報告より）